



秩父多摩甲斐国立公園 70周年記念

身近な大自然・

奥多摩へGo!

秩父多摩甲斐国立公園は、東京都・埼玉県・山梨県・長野県に広がる国立公園で、2020年7月10日に指定70周年を迎えました。今回は、70周年を記念して、奥多摩の自然保護に取り組んでいる東京都レンジャーが、奥多摩の自然の魅力をおオンラインで皆様にお伝えします。大都市のイメージが強い東京ですが、実はとても豊かな自然があります。身近で豊かな奥多摩の自然にぜひ触れてみてください。

**参加費
無料**

※ただし、通信料等は自己負担となります

日程

令和2年 **12月13日** (日)
14:00~15:00

方法

Zoomを使用したオンライン開催

募集人数

定員50人 ※原則として、都内在住・在勤又は在学の方
※定員を超えた場合は抽選

申込方法・申込期限

東京都環境公社ホームページ
(<https://www.tokyokankyo.jp/>)
「イベント・セミナー情報」から
お申込みください



申込期限: 令和2年12月8日(火)

講演

「都レンジャーから見た奥多摩の自然」

講師

東京都レンジャー 大野 真氏
滝澤憲久氏
黒岩和仁氏

- 奥多摩の自然の魅力と楽しみ方 (奥多摩の生き物や植物)
- 自然公園の大切な自然を守るために私たちにできること

東京都レンジャー

東京都自然保護指導員(東京都レンジャー)は、東京都内の自然公園の適正な利用を誘導し、貴重な自然を保護する活動を行っています。現在、多摩地域と小笠原地域で計25名が活動しています。

主催: 東京都環境局 実施: 公益財団法人東京都環境公社

【お問合せ】

公益財団法人 東京都環境公社 総務部 経営企画課 連携推進担当係
TEL 03-3644-8886 E-mail: renkei@tokyokankyo.jp



「秩父多摩甲斐国立公園 70 周年記念 身近な大自然・奥多摩へ GO!」

- 実施日時 令和2年12月13日(日)
14時00分～15時00分
- 実施方法 Zoomを使用したオンライン開催
- 受講者数 定員50名 受講申込者144名
(定員超過のため、定員を増やして対応)



□実施内容

- 第1部講演「都レンジャーから見た奥多摩の自然」
(講師) 東京都レンジャー 大野 真氏

●東京都レンジャーとは

- ・自然公園の現場をパトロールしつつ、様々な課題を発見して、解決に導く仕事。
- ・登山道の巡視、危険個所のチェック、登山道や設備の補修整備、登山者への案内、小学生の課外授業の印刷・自然観察、盗掘に対する呼びかけ、安全登山の一環として登山届出の提出を促す普及啓発活動など様々な活動をしている。
- ・自然公園とは、自然公園法により、「優れた美しい自然の風景地を保護すると共にその中で自然に親しみ、野外リクリエーションを楽しむことができるように指定された公園」。
- ・都内には多摩地域と島嶼地域に、3つの国立公園、1つの国定公園、6つの都立自然公園がある。東京都の面積の36%が自然公園に指定。面積率は、都道府県で第2位。
- ・多摩地域で奥多摩、御岳、檜原、高尾の4地区と、島嶼地域として小笠原諸島(父島・母島)で活動。
- ・都レンジャーは全部で25名。うち女性レンジャーは6名。

●奥多摩の自然と魅力

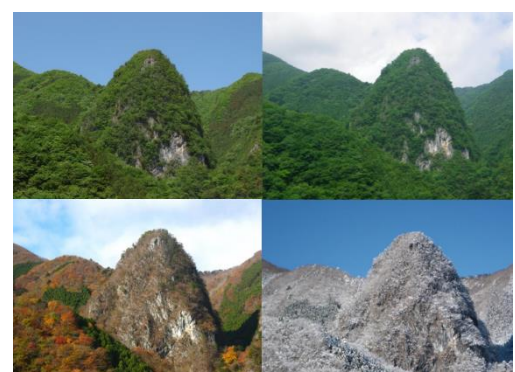
- ・秩父多摩甲斐国立公園は、昭和25年7月10日に指定され、今年で70周年を迎えた。
- ・東京・埼玉・山梨・長野の1都3県にまたがり、2000m級の山々と谷や沢がありなす美しい自然景観をもった都心に最も



(大野レンジャーによる講演)



(東京都レンジャーの仕事風景)



(四季の移り変わり)

近い国立公園。面積は 126,259ha で、沖縄本島と同じぐらい。

- 四季の風景を写真で紹介
- 奥多摩の名前の由来：現在の羽村での養蚕業や青梅鉄道の創立に関わった指田茂十郎さんの「奥の細道の奥をとって奥多摩にしたら？」という提案から使われるようになったと言われている。
- 標高ごとに変化する植物と風景：東京の最高峰雲取山周辺標高 2000m～1800mあたり亜高山帯、1800m～700mまでの山地帯、人里が近づく 700m～250mの低山帯。
- 奥多摩にはおよそ 1400 種類もの植物が生育していると言われている。
- 奥多摩にすむ哺乳類は約 40 種類。
- 奥多摩の動物をセンサーカメラ動画で紹介。



(奥多摩で見られる様々な花)



(ニホンカモシカ)

●抱える問題

- 自然災害の猛威：平成 26 年豪雪、令和元年台風 19 号。台風で橋が流されたり、斜面が崩れて登山道が埋まったりなどの被害。
- オーバーユース（過剰利用）：特定の場所に人が繰り返し訪れることで、自然に負荷がかかる。多くの人が通ることで、植生と登山道の境目が見えにくくなり複線化して植生が荒廃。登山道から人がはみ出さないよう、石を並べることで複線化から植物を守りつつ、景観に配慮。
- 鹿の問題：植物が鹿に食べられ少なくなると、虫もいなくなる。草が食べられ地肌が見える状態で雨が降れば、雨水と一緒に土が流れてしまう。
- コロナ禍での対応：利用者に対して、手洗いやマスク、ソーシャルディスタンス確保、混雑を避けるなどを 3 つのポイントにまとめたパウチを山頂や休憩箇所に設置。都レンジャー間でも基礎的な感染予防、ソーシャルディスタンスをとるなど気を配りながら勤務。
- 新型コロナウイルスの影響でぜひ来てくださいと言えないのがとても残念だが、コロナが収束したら、奥多摩で東京の豊かな自然を楽しんでいただきたい。



(令和元年台風 19 号での被害)



(雲取山に向かう登山道に石を並べる)

○第2部実演

(講師) 東京都レンジャー 滝澤憲久氏、黒岩和仁氏、大野 真氏

- レンジャーが日頃どのようにお客様対応をしているかを実演で紹介。
- 大岳山は御岳ケーブルから歩ける最高峰 1266m。奥多摩で人気の山。その頂上での声掛けを実演。帰り道の長さ、日没の時間、ヘッドライトや地図、防寒着などの持ち物の有無などについて、登山者が安全に帰れるように声掛け。
- 自然公園を楽しむために必要なもの：レンジャーが持っている装備の一部を紹介。ヘッドライト、登山地図、防寒着、雨具、非常食、水、救急セットなど。



(黒岩レンジャー、大野レンジャー、滝澤レンジャー)



(登山に必要な持ち物の紹介)

○第3部 質疑応答

- なぜ東京都レンジャーになろうと思ったのですか？
幼少の頃から自然が大好き。動植物が好き。登山が趣味で自然の中で働きながら社会貢献できる。
- どの大学・学部に進学するのがいいの？
農学部、林学部、理学部など自然環境や野生生物に関連する大学、短期大学や専門学校を卒業していること、などの要件があるので、詳しくは募集要項をご覧ください。
- 自然をどのように守りながら魅力を紹介するのか
自然を守るためにはなるべく手を加えない方がいいが、レンジャーとしては、植物や動物をとらない、ごみを捨てない、道はずれないなど利用者に伝えながら、魅力も伝えていく。
- 一人でも参加できるツアー、個人ガイドは頼めるか？
御岳や奥多摩ビジターセンター、山のふるさと村、檜原都民の森、奥多摩都民の森などでツアーを募集している。各観光協会でも行っている。個人のガイドもいる。
- 地球温暖化で変わったことがあれば教えてほしい。
台風災害に見舞われた。鹿も冬に雪が降らないため増えている。関係はあるのではないかと思う。
- 熊以外の動物に出会った時は？
熊は正面を向いてあとずさり。近くに寄らない。他の動物でも、後ろを向かないであとずさりする。



(参加者から寄せられた質問への回答)

講座終了後もチャットで寄せられた質問にレンジャーの皆様からご回答いただきました。
皆さま、ご参加いただき、ありがとうございました。

- 都レンジャーの活動などについては、バス停や駅、HPなどに掲出しているニュースレター「都レンジャーニュース」のほか、Twitterでも【東京の自然公園】というアカウントで自然情報などを発信していますので、ぜひご覧ください。



滝澤レンジャー、大野レンジャー、黒岩レンジャー
ありがとうございました！

講座の関連ホームページをお知らせします。

○東京都レンジャー募集中！（小笠原レンジャー：主事 1 名） ※講座開催時

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/naturepark/join/toranger/index.html>

○御岳ビジターセンター

<https://www.ces-net.jp/mitakevc/index.html>

○奥多摩ビジターセンター

<https://www.ces-net.jp/okutamavc/>

○山のふるさと村

<https://www.yamafuru.com/>

○檜原都民の森 <https://www.hinohara-mori.jp/> 小さなお子様にもお勧めです。

○登山好きな方には奥多摩都民の森がおすすめです。 <https://www.tomin-no-mori.jp/>

○東京都レンジャーTwitter（東京の自然公園）

<https://twitter.com/tokyonp2017>

○奥多摩サポートレンジャー会（東京都レンジャーをサポートしてくださっているボランティア団体）

<https://okutama-sr.jpn.org/>